



道しるべ

第31号
平成30年12月



長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

道守養成ユニットの会「佐世保地域部会」の結成と活動

○道守養成ユニットの会と各地域部会

道守養成ユニットの会は会員の皆さんがやりたいことができる組織であることをご存知ですか？

道守養成ユニットの会は平成29年11月28日に会員数237名によって結成し、道守を養成する事務とともに道守の活動を行う組織として誕生しました。また、地域に根ざした活動を行っていくために長崎地域、佐世保地域、県央地域、島原地域、上五島地域、下五島地域、対馬地域、壱岐地域の8つの地域部会を発足しました。

地域部会の発足の目的（メリット）は、「地域ごとの活動が可能」、「自己研鑽や情報交換の場が増える」、「地域での見学会や技術講習会の開催が可能になる」、「地域インフラの維持管理・長寿命化に貢献しやすくなる」、「道守の更新がやりやすくなる」そして最大のメリットは「会員のやりたいことが実現しやすくなる」ことです。

佐世保地域部会は佐世保市、平戸市、松浦市、西海市、佐々町、小値賀町、東彼杵町、川棚町、波佐見町の4市5町を活動範囲とし、県外の会員も含め会員数56名の長崎地域に次ぐ規模の大きな部会です。

○佐世保地域部会の活動報告

佐世保地域部会は発足後初めて平成30年8月24日に会合を開催し、事務局の松永さんを始め出席総数は23名でした。会合では愛護団体登録についての説明やボランティア清掃地域の検討、今後の活動方針などについて協議を行いました。

平成30年11月8日に佐世保市、佐々町、東彼杵町、川棚町、波佐見町を対象として長崎県県北振興局へ愛護団体を登録し、12月8日に佐世保地域初の道路見守り活動（清掃・パトロール）を23名が参加し「道の駅 させぼっくす99」の周辺で行いました。

今後の活動目標は、道路見守り活動（清掃・パトロール）を始め、現地検フオロアップ研修や講習または懇親会など技術の向上や親睦を深めるような活動を目指したいとおもいます。

各地域部会から道守ユニットの会全体を盛り上げていけますよう、皆様のご協力よろしくお願いたします。

（道守養成ユニットの会 佐世保地区 三岳）



佐世保地域部会会合



12月8日美化清掃活動集合写真

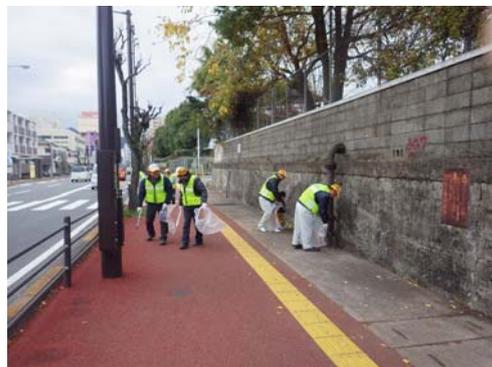
長崎地区道路清掃活動

10月、12月と長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」による道路見守り活動（清掃パトロール）を行いました。10月13日には28名（うち子供2名）、12月8日には17名（うち子供1名）と多くの方に参加して頂き、寒い中での活動、大変お疲れ様でした！

また、今年度から各地域での活動を始める計画にしておりましたが、さっそく佐世保地区の道路見守り活動も始動し活気付いて来ました。長崎地区も負けてられません！今後の清掃活動やその他のイベントへの参加、よろしくお願い致します。
(道守養成ユニットの会 長崎地区 三浦)



集合写真



清掃活動の様子

★センターより★ 清掃活動中に見つけた道路インフラの異常については、通報をお願いいたします。

道守養成ユニット成果報告会開催のお知らせ

平成30年度道守養成ユニット成果報告会を開催することが決定しました。今年度は、「道守養成ユニットの会」と合同で開催いたします。詳細が決定しましたら、FaceBook・HPでお知らせいたします。

- 日時 平成31年2月8日(金) 13:00~17:30
- 会場 長崎大学 文教スカイホール

道守補コース・特定道守コース・道守補コース(宮崎)の開催

9月6日(木)~10月30日(火)にて、「道守補コース」を開催しました。48名が受講されました。



10月18日(木)~11月30日(金)にて、「特定道守コース」を開催しました。鋼構造8名、コンクリート構造9名、うち3名が2コース同時受講をされています。今回は、トンネルのプロジェクト演習を初めて実施いたしました。



11月29日(木)～12月7日(金)にて、「道守補コース(宮崎)」を開催しました。23名が受講されました。



ながさき建設技術フェア2018で東北大学と合同ブースを出展

日時：平成30年11月1日、2日

場所：長崎県立総合体育館メインアリーナ（長崎市）

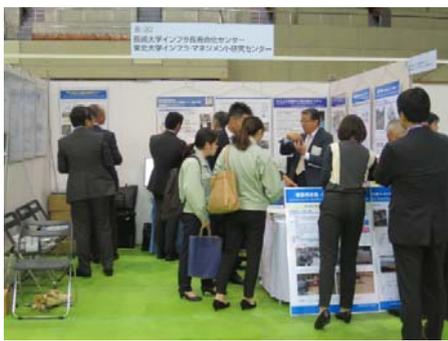
本年度は東北大学インフラ・マネジメント研究センターと長崎大学インフラ長寿命化センターの合同で「SIP等新技術の社会実装の取組み」のテーマでブースを出展した。九州・山口地域と東北地域におけるSIP等新技術の社会実装の取組みに加えて、大学発の新技術の紹介を行った。国・県・市の行政関係者・道守認定者・地場企業の関係者に詳しい説明ができた。1日目の長崎県土木部藤田技監による講演「長崎県における社会資本の長寿命化について」では、長崎県独自の長寿命化の取組みとして道守認定者の活動や新技術の活用が紹介された。参加者全体で1602人。

【展示内容】

- ・ 長崎大学と東北大学による新技術の社会実装の取組み紹介
- ・ 自治体支援データベースシステムの社会実装(東北大学)
- ・ 斜面早期警戒システムの現場実装と長期モニタリング(長崎大学)
- ・ AIによる革新的ひび割れ検出システムと床板模型の展示(東北大学)
- ・ JICA 全世界インフラ研修やコンクリートのモニタリングシステムの紹介(長崎大学)
- ・ 道守養成講座の内容と認定者の活動の紹介(長崎大学)
- ・ SIP 紹介冊子、事例集、センターの活動などは資料配布



テープカット



展示ブース



講演会の様子

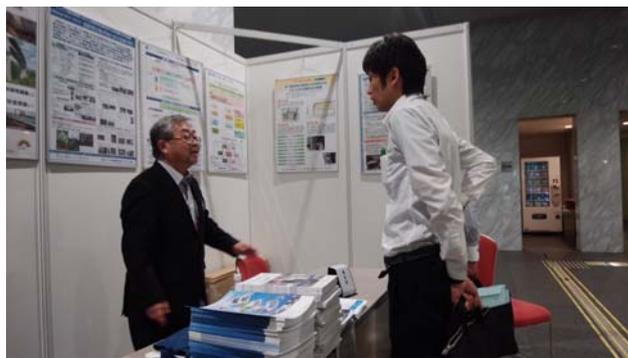
九州建設技術フォーラム2018にブースを出展

日時：平成30年10月9日、10日

場所：福岡国際会議場（福岡市）

〔変わらない品質を、これから先も〕をメインテーマに開催された。9日の基調講演では、政策大学院大学家田仁教授による「インフラメンテナンスの基本的仮題とこれから」と題する維持管理の本質に関する講演がなされた。長崎大学インフラ長寿命化センターと佐賀大学（伊藤幸広教授）が共同でブースを大学関係として唯一

展示し、SIP インフラ地域実装支援事業における九州・山口地域の取組み状況や研究開発技術等の説明を行った。参加者は延べ 2,962 人。



展示ブース

兵庫県議会建設常任委員会管外調査を受け入れ

日時：11月16日(金) 10:00-12:00

場所：工学部大会議室

出席者：兵庫県議会建設常任委員会水田常任委員長以下 12 人、随行者 4 人
インフラ長寿命化センター山下副センター長以下 5 人

兵庫県議会建設常任委員会は、交通・社会基盤等の整備、まちづくり、住まいづくりなどに関する予算や条例案の審査等を行っている部署で、活動の一環として、県外における成功事例や先進的な取組等について、年 1 回視察を実施している。委員会の自主的な活動として調査研究に取り組んでおり、今年度は「インフラ老朽化への対応」をテーマにしている。

今回の調査は、その一環としてインフラ長寿命化に資する教育プログラム「道守養成」に関する調査のための来訪であった。

山下副センター長の挨拶を兼ねた大学の取組みの紹介の後、担当から道守養成講座の内容を資料とパワーポイントを用いて詳細な説明がなされた。また、佐々木准教授と杉本准教授から維持管理に関する研究紹介がなされた。その後質疑応答が交わされた。最後に学内の道守養成講座の演習用教材である解体げたやコンクリート製モデル構造物を見学して終了した。



視察の様子



研究紹介の様子

SIP地域実装報告会

第 8 回 SIP 地域実装技術説明会が、平成 30 年 9 月 13 日に大分市で開催された。会場の大分県土地改良会館には約 90 名の大分県土木建築部及び県農林水産部職員、市町村職員、企業局職員、測量設計会社職員が参加した。

技術説明会では、株式会社サザンテック児玉明裕氏による講演「橋梁点検の実務におけるポイント」がなされた。続いて大分工業高等専門学校一宮一夫氏による「インフラメンテナンスと防災レジリエントに関する

SIP の概要紹介」、富士フィルム株式会社植木翔太氏による「コンクリート構造物のひび割れを写真から自動検出する画像解析技術「ひびみっけ」について」、新日本非破壊検査株式会社和田秀樹氏による「近接目視・打音検査等を用いた飛行ロボットによる点検システムについて」、三井住友建設株式会社藤原保久氏による「橋梁点検ロボットカメラ等機器を用いたモニタリングシステムについて」の講義が行われ、参加者は実務上の留意点や最新の技術動向について理解を深めた。



会場の様子

第9回 SIP 地域実装技術説明会が、平成30年10月18日に北九州市で開催された。会場の北九州市国際会議場には約120名の建設・設計業関係者、自治体職員、大学関係者等が参加した。

技術説明会では、岐阜大学六郷恵哲氏による特別講演「SIP 維持管理技術のMEネットワークによる実装」がなされた。続いて先進テーマとして、新日本非破壊検査株式会社和田秀樹氏による「近接目視・打音検査等を用いた飛行ロボットによる点検システムの研究開発」、シビル調査設計株式会社毛利茂則氏による「橋梁点検カメラシステム[視る・診る]」の2例が紹介された。

休憩を挟み、北九州地区内企業の維持管理技術として、計測検査株式会社村岡秀人氏による「ドローンを活用した目視検査（空撮）」、株式会社国際海洋開発丹康弘氏による「水域インフラ施設点検のための無人水上艇と画像処理技術の開発」の2例が紹介された。

最後に「先進技術および維持管理の現状に関する意見交換」と題してパネルディスカッションが行われ、北九州市河野公平氏を加えた6名の間で活発なディスカッションが交わされた。



会場の様子

編集後記・新しいスタッフの紹介

こんにちは。9月よりインフラ長寿命化センターに勤務しております山本彩美です。学生時代に土木を学んでおりましたが、就職以来十数年間縁遠い生活でした。至らない点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。今回初めて道しるべの編集を担当しました。こちらに入ってから、あっという間に過ぎてしまったように感じますが、このように振り返ると様々な出来事があったことがよくわかります。

平成も最後になりますね。皆様、どうぞ良いお年をお迎えください。来年もよろしくお願い致します。

(山本)

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

【インフラ長寿命化センターHP】

<http://ilem.jp>



【Facebook】

<https://www.facebook.com/ilem.nagasaki>

